

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0361

(注)本稿は 2015 年 11 月 5 日から 19 日まで 7 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2015.11.21

前田 高行

## MENA(中東・北アフリカ)諸国の「世界競争力ランキング」(2015-2016年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その15)

目次	頁
1. 「世界競争力レポート」について	2
2. MENA15カ国の世界競争力ランキング	2
3. 過去5回の順位の推移	
3-1 MENA 各国の順位の変遷(第11回～第15回)	3
3-2 主要3カ国と米国・日本・中国の比較	4
4. MENAの分野別競争力	5
5. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)	7
(1)UAE と米国、日本の比較	8
(2)サウジアラビア、イスラエルと中国の比較	8
(3)トルコとエジプトの比較	9

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム協力機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダ

ヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第15回のランキングは、「世界経済フォーラム」(World Economic Forum, 略称 WEF)が発表した「Global Competitiveness Report 2015-2016」(世界競争力レポート)について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

\* WEF ホームページ:

<http://www.weforum.org/reports/global-competitiveness-report-2015-2016>

## 1. 「世界競争力レポート」について

「世界競争力レポート(Global Competitiveness Report)」は、毎冬スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム」が2001年から毎年発表しているレポートであり今回で第15回目となる。第1回レポートの対象国は75カ国であったが、その後対象国は増え今回は140カ国となっている。MENA の対象国は15カ国であり、評価対象外となっている国はリビア、シリア、イラク、イエメン及びパレスチナ自治政府である。

このランキングは、一般に入手可能な公表データと、WEF が報告対象各国の提携機関とのネットワークで行っている包括的年次調査「エグゼクティブ意見調査」の結果から算出されている。ちなみに日本の提携機関は慶応大学、経済同友会である。

「世界競争力レポート」の総合的な競争力ランキングはコロンビア大学のザビエル・サラ＝イ＝マーティン教授が開発し2004年に導入された世界競争力指数(Global Competitiveness Index, GCI)が用いられている。GCIは競争力に関する12の分野をもとに設計されており、世界の国々のすべての発展段階における競争力の全体像を示している。

12分野とは、①制度機構(Institutions)、②インフラ(Infrastructure)、③マクロ経済環境(Macroeconomic environment)、④保健および初等教育(Health and primary education)、⑤高等教育及び訓練(Higher education and training)、⑥商品市場効率(Goods market efficiency)、⑦労働市場効率(Labor market efficiency)、⑧金融市場の開発度(Financial market development)、⑨技術的即応性(Technological readiness)、⑩市場規模(Market size)、⑪ビジネスの洗練度(Business sophistication)及び⑫イノベーション(Innovation)である。

(MENA トップに返り咲いたカタール！)

## 2. MENA15カ国の世界競争力ランキング (末尾表 15-T01 参照)

2014-2015年競争力ランキングではMENA19か国のうち15カ国がランク付けされている。昨年2位のカタールがトップに返り咲いた。同国は世界140カ国中の14位に評価され前回よりランクを2つ上げている。昨年世界12位で MENA トップであった UAE は、今回は世界17位に下がって

いる。この2か国に続くのはサウジアラビア(世界25位)、イスラエル(同27位)である。以下クウェイト(同34位)、バハレーン(同39位)であるがこれら2か国は前回よりそれぞれ6ランク及び5ランク上がっている。これら MENA 上位6カ国は世界50位以内に入っているが、イスラエルを除く5カ国はGCC(湾岸協力機構)加盟国である。GCC 諸国は石油・天然ガスの富により MENA 域内では突出した競争力を持っていることがわかる。

MENA7位以下はトルコ(世界51位)、オマーン(同62位)、ヨルダン(同64位)と続き、以上の8カ国が全世界140カ国中の上位グループに入っている。オマーンは去年の46位から大幅に順位を落としている。MENA10位以下はモロッコ(世界72位)、イラン(同74位)、アルジェリア(同87位)、チュニジア(同92位)、レバノン(同101位)、エジプト(同116位)である。

昨年126位のリビア及び142位のイエメンは今回評価の対象から外れており、また最初にも書いたとおりイラク、シリア及びパレスチナ自治政府はランク付けされていない。なお MENA15カ国の平均順位は58位で去年の67位より上回っており、また世界平均を少し上回っている。但し昨年より平均順位が上がったのは昨年世界順位の低かったリビア及びイエメンが今回査定対象外となった特殊事情によるものである。

因みに世界ランク1位はスイスであり、2位はシンガポール、3位米国である。これら3か国は昨年と同じ順位である。また日本も昨年同様世界6位にランクされている。中国は28位でありイスラエルに次ぐランクである。

今回の世界順位を前回のそれと比較すると、比較的順位を大きく上げたのはレバノン、イラン、クウェイト、バハレーンの各国であり、一方順位を下げた国はオマーン、アルジェリア、トルコ、UAE、チュニジアである。

### **3. 過去5回の順位の推移**

#### **3-1 MENA 各国の順位の変遷(第11回～第15回) (末尾表 15-T02 参照)**

第11回(2011-2012年)から第15回(2015-2016年)までの競争力ランクの推移を見ると、カタールは前回を除き5回中4回は MENA トップを占めており、また世界順位も10位台の前半を維持している。UAE の世界順位は第11回の27位以降24位→19位→12位へと毎回大きく躍進、前回はカタールを抜いてMENAトップとなった。今回は17位に落ちたものの世界20位以内が定着したと考えられる。

サウジアラビアは第13回までは UAE を上回る順位であったが、過去5年間は17位→18位→20位→24位→25位と最近は20位台に定着した感がある。カタール、UAE 及びサウジアラビアはいずれも湾岸の有力産油(ガス)国であり、近年石油・天然ガス価格が高水準で推移しているため豊かな財政力にものを言わせて産業基盤の整備、外資誘致などに積極的であり競争力の評価が高まっていると言えよう。その他の GCC3カ国のうちクウェイト及びバハレーンは5年間を通じて常に世界50位以内に入っており、オマーンも今回こそ62位に落ちたがそれまでは30位～40位であった。

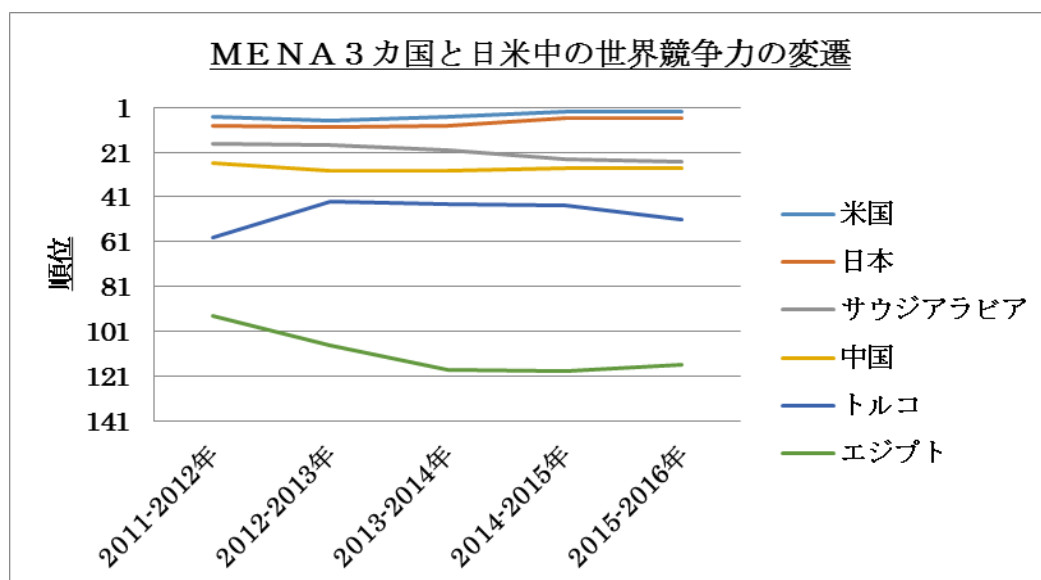
MENA の大国であるトルコ、イランおよびエジプトの3カ国を比較すると、第11回(2011-2012年)はトルコ59位、イラン62位、エジプト94位であった。トルコはその後43位→44位→45位→51位とほぼ世界の50位以内を維持している。これに対してイランは第12回までは60位台を維持していたが、その後の2回は80位台に落ち今回は72位に戻るなどかなり振幅が激しい。エジプトの場合は第11回の94位から第12回以降は世界100位以下に転落しここ3年間は110位台後半にとどまっている。「アラブの春」以降政局が安定せず、最近ようやく落ち着きを取り戻しつつあるように見えるが、軍事政権に対する評価を含め外国が見るエジプトの対外競争力の評価は極めて厳しいと言うべきであろう。

「アラブの春」のきっかけとなったチュニジアは政変直後の第11回(2011-2012年)は40位であったものの、第12回は評価対象外とされ、評価が再開された前々回以降は83位→87位→92位世界の低位グループに落ち、しかも年々競争力順位が下がっている。

MENA 諸国はここ数年競争力順位を下げた国が多く、世界における MENA の平均順位も第11回の58位から62位→66位→67位と昨年までは毎年下がっている。今回は58位にアップしているが、これは世界ランクが低いリビア、イエメン、シリアが評価対象外となっていることが影響したものであり、実質的には60位台後半程度と見られる。

### 3-2 主要3カ国と米国・日本・中国の比較

MENA の経済大国であるサウジアラビア、トルコ、エジプト3カ国と米国、日本、中国の過去5回の競争力順位を比べてみる。



米国の第11回(2011-12年)の順位は世界5位であったが、5年間の順位は5位→7位→5位→3位→3位と第12回(2012-13年)に一旦7位まで下がった後は連続して順位を上げ前回と今回はベスト・スリーになっている。日本は9位→10位→9位→6位→6位と5年連続してベスト10に入っており、コンスタントに高いランクにいる。日米がともに最近順位を上げているのは、EU 諸国の競

争力が相対的に低下しているためと考えられる。

サウジアラビアは5年間を通じて第11回(2011-2012年)の17位をピークとしてその後は連続して順位を下げており今回は25位にとどまり、競争力に陰りが見えている。これに対して中国は26位→29位→29位→28位→28位とコンスタントに20位台の後半であり、サウジアラビアと中国のランク差は縮小している。

トルコとエジプトはここ5年間明暗を分けている。第11回(2010-2011年)の順位はトルコ59位、エジプト94位であったが、トルコはその後59位→43位→44位→45位と安定している。一方のエジプトは第11回の94位以降、107位→118位→119位と順位を下げ100位以下が定着した感があり、トルコとの差は年々大きくなっている。但し今回はトルコが順位を51位に下げたのに対し、エジプトは116位と上げており、両国の格差はわずかながら縮まっている。

エジプトは「中東の春」によるムバラク軍事独裁政権からムルシ・イスラム主義政権へ、さらにシーシ軍事政権に逆戻りし、その間経済が大きく停滞したが昨年からは漸く安定に向かっている。これに対してトルコは中東の優等生として高い経済成長を誇ってきたが、最近では与党の強権体制で経済が停滞気味である他、隣国シリアの混乱あるいは国内ではクルド問題等を抱えていることで欧米諸国に警戒感が生まれている。

#### **4. MENAの分野別競争力** (末尾表 15-T03 参照)

冒頭に触れた通り世界競争力指数は「制度機構」から「イノベーション」まで12の分野について世界140カ国を順位付けている。各分野毎の MENA 各国の世界順位は概略以下のとおりである。

##### (1) 制度機構(Institutions)

MENA トップはカタールで世界順位は4位、同国に次ぐのは UAE(世界9位)であり、この両国は世界トップレベルである。MENA3位以下は、サウジアラビア(同24位)、バハレーン(同26位)、オマーン(同31位)であり、これら GCC 諸国は世界的に見ても高い水準である。但し同じ GCC 構成国でもクウェイトは世界56位であり6カ国の中では見劣りがする。

(参考: 日本13位、米国28位、中国51位)

##### (2) インフラ(Infrastructure)

UAE は世界4位であり非常に評価が高い。これに次ぐのがカタール18位、バハレーン29位、サウジアラビア30位、イスラエル32位であり、MENA 諸国の中では UAE が飛び抜けている。

(参考: 日本5位、米国11位、中国39位)

##### (3) マクロ経済環境(Macroeconomic environment)

カタールが世界2位。以下クウェイト(3位)、サウジアラビア(4位)、UAE(7位)である。GCC の4カ国が世界のトップテンに入っている。これら各国に続くのがオマーン(19位)、アルジェリア(38位)、イスラエル(50位)である。GCC6カ国のうちバハレーンを除く5カ国が世界20位以内に入っ

ているが、これらの国家は収入の大半を石油に依存しており、昨年前半まで高い原油価格に恵まれ、また「アラブの春」以降 MENA に広まるイスラム過激派テロ活動を抑え込んで政治の安定を保っていることが評価されている。これに対してヨルダン(130位)、エジプト(137位)、レバノン(139位)などは世界140カ国中の最低ランクにとどまっている。

(参考:中国8位、米国96位、日本121位)

(4) 保健および初等教育(Health and primary education)

この分野では世界28位のカタールが MENA トップである。これに次ぐのはレバノン(30位)、バハレーン(35位)、UAE(38位)である。一方、エジプトは96位であり、今回評価対象とならなかったイエメン及びリビアの昨年度順位は各々116位及びリビア119位であり、MENA 諸国の間にはかなりの格差がある。

(参考:日本4位、米国46位、中国44位)

(5) 高等教育及び訓練(Higher education and training)

MENA トップはカタール(世界27位)でこれに次ぐのがイスラエル(同28位)、UAE(37位)、バハレーン(44位)、サウジアラビア(49位)である。100位以下にはモロッコ(108位)及びエジプト(111位)の2カ国が名を連ねている。

(参考:米国6位、日本21位、中国68位)

(6) 商品市場効率(Goods market efficiency)

この分野では UAE(世界3位)及びカタール(同5位)の2カ国が世界のトップレベルに評価されている。これら2カ国に続くのがバハレーン(18位)、サウジアラビア(29位)で GCC の4カ国が上位を占めている。同じ GCC 加盟国であるがクウェイトは世界98位と低い。地域の大国トルコ、イラン、エジプトの順位はそれぞれ45位、109位、115位である。

(参考:日本11位、米国16位、中国58位)

(7) 労働市場効率(Labor market efficiency)

世界11位の UAE が MENA トップである。カタール(世界14位)、バハレーン(同24位)がこれに続いている。MENA のこの分野における世界順位は概して低く、イラン(138位)、エジプト(137位)、アルジェリア(135位)、チュニジア(133位)など世界140カ国の中でも最低クラスの国が多い。このため MENA の平均順位は90位であり12の指標の中では最も低い。

(参考:米国4位、日本21位、中国37位)

(8) 金融市場の開発度(Financial market development)

MENA ではカタールが最も洗練された金融市場と評価されており世界13位である。そのほかでは UAE(世界20位)、イスラエル(26位)などが世界競争力の高い国とされている。金融活動が活発なバハレーンは33位である。

(参考:米国5位、日本19位、中国54位)

#### (9)技術的即応性(Technological readiness)

この分野では世界ランク20位のイスラエルが MENA トップである。続いて UAE(世界30位)、カタール(同31位)、バハレーン(34位)、サウジアラビア(42位)と続いている。一方、エジプト及びイランは各々98位、99位であり、アルジェリアは MENA15カ国中では最も低い126位である。

(参考:米国17位、日本19位、中国74位)

#### (10)市場規模(Market size)

市場規模の競争力ランクではトルコが世界16位、サウジアラビア17位、イラン19位、エジプトが24位である。この指標は人口規模と密接に関係しており、MENA の人口大国が上位に並んでいる。これに対してカタール(56位)、クウェイト(58位)など人口が少ない湾岸産油国は一人当たりの購買力は高いが市場規模での競争力は高くない。

(参考:米国2位、中国1位、日本4位)

#### (11)ビジネスの洗練度(Business sophistication)

カタールが MENA1位(世界10位)であり、これに続くのが UAE(15位)、イスラエル(23位)、サウジアラビア(29位)である。一方、イラン(110位)のように経済制裁を受けている国は、欧米の経営ノウハウの流入が遅れており、洗練度が低く競争力は見劣りすると評価されている。

(参考:日本2位、米国4位、中国38位)

#### (12)イノベーション(Innovation)

イスラエルは世界3位であり、技術先進国としての評価が定着している。同国に次ぐ MENA2位はカタール(世界14位)、以下 UAE(26位)、サウジアラビア(34位)であり、MENA1位のイスラエルと3位以下の格差は大きい。またオマーン、クウェイト、チュニジア、アルジェリア、エジプトなど100位以下の国も少なくない。アラブ諸国はイノベーション分野では後進地域と見なされているようである。

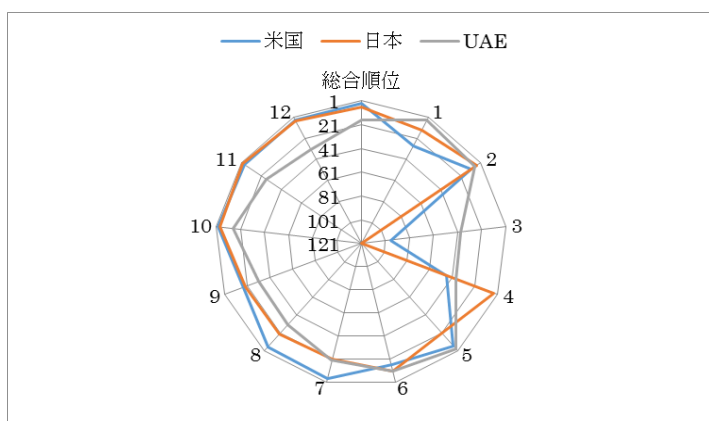
(参考:日本5位、米国4位、中国31位)

### 5. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)

MENA の主要5カ国(エジプト、トルコ、サウジアラビア、イスラエル及び UAE)と日本、米国、中国の分野別競争力を比較してみる。ここではこれら7か国を総合世界ランクが近い国同士で3つのグループに分け、レーダーチャート図によって各国の競争力の特徴を比較検討する。

レーダーチャート図は最も外側が世界順位1位であり内側の中心は世界151位である。また最上段の総合順位以下時計周りの1から12の数字は各分野を示している。各分野の世界順位を結ぶ輪が各国の状況である。レーダーチャートの輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が円に近いほど各分野で平均した競争力があることを示している。

### (1)UAE と米国、日本の比較

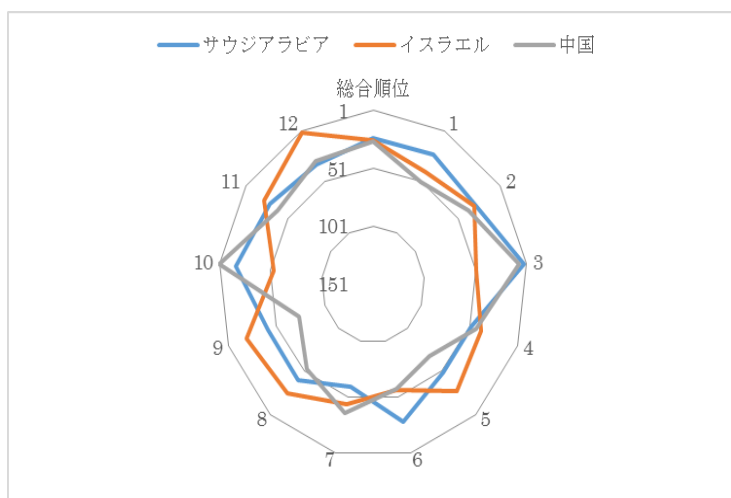


まず米国(総合世界3位)、日本(同6位)と UAE(同17位)を比較すると、米国は「3. マクロ経済環境」が大きく落ち込んでいるが(世界96位)、6項目は世界のベスト・テンに入っており、3項目がベスト20位である。これに対して日本は米国同様「3. マクロ経済環境」が大きく落ち込み世界121位にとどまっているが、「2. インフラ」など5項目が世界のベスト・テンに入り、その他の4項目も世界20位以内に入っており平均した競争力を持っていることを示している。

MEGA で2位、世界17位の UAE は「1. 制度機構」、「2. インフラ」、「5. 高等教育及び訓練」の3項目が世界10位以内であり米国とそん色がない。さらにすべての項目が世界40位以内であり全体としては均衡のとれた競争力を示している。

MENA で2位、世界17位の UAE は「1. 制度機構」、「2. インフラ」、「5. 高等教育及び訓練」の3項目が世界10位以内であり米国とそん色がない。さらにすべての項目が世界40位以内であり全体としては均衡のとれた競争力を示している。

### (2)サウジアラビア、イスラエルと中国の比較



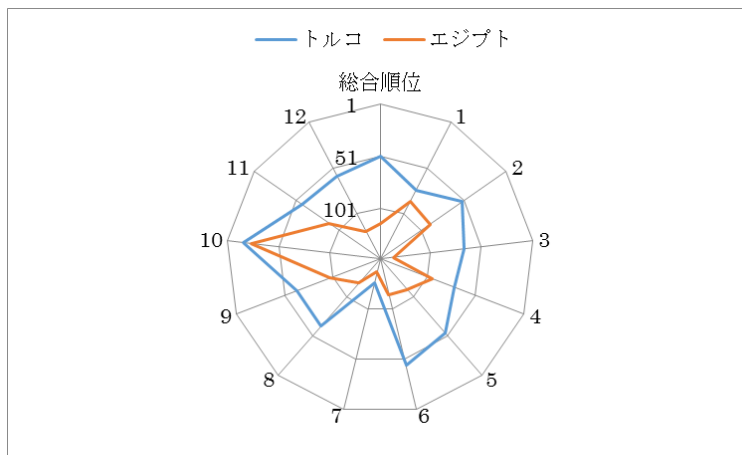
次にサウジアラビアイスラエル及び中国を比べると総合順位はそれぞれ25位、27位、28位であり非常に近接している。サウジアラビアは「3. マクロ経済環境」が世界4位と非常に評価が高い。その他の項目では世界30～40位台が多く、最も悪いのは「7. 労働市場効率」の世界60位である。

中国がサウジアラビアを上回っているのは「4. 保健及び初等教育」、「7. 労働市場効率」及び「10. 市場規模」の3項目だけであり、その他の9項目はサウジアラビアが中国を上回っている。市場規模の格差については説明するまでもないが、労働市場効率に関しては、サウジアラビアでは宗教上の制約により女性の就労率が低いため市場効率が悪いとされているのである。一方、サウジアラビアは「1. 制度機構」では世界24位で中国(51位)を上回り、また「5. 高等教育及び訓練」では49位対68位、「9. 技術的即応性」は42位対74位などサウジアラビアが中国より優れている項目がある。

イスラエルは両国の中間にあり、世界3位の「12. イノベーション」以外の項目の多くは世界40～50位台である。



### (3)トルコとエジプトの比較



トルコとエジプトは共に人口7千～8千万人を有する MENA の大国である。両国の総合ランクはトルコ51位、エジプト116位と大きな格差がある。トルコは「7. 労働市場効率」が世界127位と極めて低いが、その他のほとんどの項目は60位前後で世界の上位グループに入っている。これに対してエジプトは12項目中の6項目が世界100位以下、そ

の他4項目も90位前後に低迷しており、「10. 市場規模」だけが世界上位の24位である(同項目のトルコの順位は16位)。エジプトは人口規模のみが競争力として評価され、その他の項目は極めて低いのに対しトルコは新興工業国として種々の側面で競争力が評価されていると考えられる。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

**世界競争カランキング**

国名	2015-2016 年		2014-2015 年		前回との 世界順位 比較
	世界順位	MENA 順位	世界順位	MENA 順位	
カタール	14	1	16	2	2
UAE	17	2	12	1	-5
サウジアラビア	25	3	24	3	-1
イスラエル	27	4	27	4	0
クウェイト	34	5	40	5	6
バハレーン	39	6	44	6	5
トルコ	51	7	45	7	-6
オマーン	62	8	46	8	-16
ヨルダン	64	9	64	9	0
モロッコ	72	10	72	10	0
イラン	74	11	83	12	9
アルジェリア	87	12	79	11	-8
チュニジア	92	13	87	13	-5
レバノン	101	14	113	14	12
エジプト	116	15	119	15	3
リビア	-	-	126	16	n.a.
イエメン	-	-	142	17	n.a.
イラク	-	-	-	-	-
パレスチナ自治区	-	-	-	-	-
シリア	-	-	-	-	-
MENA 平均	58	-	67	-	9
世界 1 位	スイス	-	スイス	-	-
最下位	ギニア	-	ギニア	-	-
日本	6	-	6	-	0
米国	3	-	3	-	0
中国	28	-	28	-	0

Source:The Global Competitiveness Report by World Economic Forum (WEF)

<http://reports.weforum.org/global-competitiveness-report-2015-2016/>

### 世界競争カランクの推移

	第 11 回 (2011-2012 年)	第 12 回 (2012-2013 年)	第 13 回 (2013-2014 年)	第 14 回 (2014-2015 年)	第 15 回 (2015-2016 年)
カタール	14	11	13	16	14
UAE	27	24	19	12	17
サウジアラビア	17	18	20	24	25
イスラエル	22	26	27	27	27
クウェイト	34	37	36	40	34
バハレーン	37	35	43	44	39
トルコ	59	43	44	45	51
オマーン	32	32	33	46	62
ヨルダン	71	64	68	64	64
モロッコ	73	70	77	72	72
イラン	62	66	82	83	74
アルジェリア	87	110	100	79	87
チュニジア	40	-	83	87	92
レバノン	89	91	103	113	101
エジプト	94	107	118	119	116
リビア	-	113	108	126	-
イエメン	138	140	145	142	-
シリア	98	-	-	-	-
イラク	-	-	-	-	-
パレスチナ自治区	-	-	-	-	-
MENA 平均	58	62	66	67	58
調査対象国数	142	144	148	144	140
日本	9	10	9	6	6
米国	5	7	5	3	3
中国	26	29	29	28	28

Source: The Global Competitiveness Report by World Economic Forum (WEF)

<http://reports.weforum.org/global-competitiveness-report-2015-2016/>

## 2015-2016年世界競争ランキング(項目別)

総合順位	国名	Institutions	Infrastructure	Macroeconomic environment	Health and primary education	Higher Education and training	Goods market efficiency
14	カタール	4	18	2	28	27	5
17	UAE	9	4	7	38	37	3
25	サウジアラビア	24	30	4	49	49	29
27	イスラエル	41	32	50	39	28	57
34	クウェイト	56	54	3	79	85	98
39	バハレーン	26	29	82	35	44	18
51	トルコ	75	53	68	73	55	45
62	オマーン	31	36	19	66	88	52
64	ヨルダン	36	70	130	54	50	39
72	モロッコ	47	55	58	77	108	64
74	イラン	94	63	66	47	69	109
87	アルジェリア	99	105	38	81	99	134
92	チュニジア	79	80	97	58	76	118
101	レバノン	128	116	139	30	58	56
116	エジプト	87	91	137	96	111	115
58	(平均)	56	56	60	57	66	63
参考							
6	日本	13	5	121	4	21	11
28	中国	51	39	8	44	68	58
3	米国	28	11	96	46	6	16

(続き)

<u>総合順位</u>	<u>国名</u>	<u>Labor market efficiency</u>	<u>Financial market development</u>	<u>Technological readiness</u>	<u>Market size</u>	<u>Business sophistication</u>	<u>Innovation</u>
14	カタール	14	13	31	56	10	14
17	UAE	11	20	30	31	15	26
25	サウジアラビア	60	41	42	17	29	34
27	イスラエル	45	26	20	54	23	3
34	クウェイト	117	73	56	58	63	109
39	バハレーン	24	33	34	92	32	56
51	トルコ	127	64	64	16	58	60
62	オマーン	89	45	62	64	71	103
64	ヨルダン	93	71	76	76	40	40
72	モロッコ	123	70	78	53	82	98
74	イラン	138	134	99	19	110	90
87	アルジェリア	135	135	126	37	128	119
92	チュニジア	133	122	80	69	104	110
101	レバノン	109	78	66	77	61	95
116	エジプト	137	119	98	24	89	120
58	(平均)	90	70	64	50	61	72
参考							
6	日本	21	19	19	4	2	5
28	中国	37	54	74	1	38	31
3	米国	4	5	17	2	4	4

Source:The Global Competitiveness Report by World Economic Forum (WEF)

<http://reports.weforum.org/global-competitiveness-report-2015-2016/>